

令和6年度における広島市認知症地域支援推進員の特色ある取組について

区	分類	特色ある取組
中区	研修会	区内に企業が多いため、推進員から地域包括支援センターに、企業への若年性認知症の周知の必要性や意義を伝えていた。これを受けて、センターに企業から認知症サポーター養成講座の依頼があった際、センターから若年性認知症の研修会も打診したところ、開催につながった。研修会の開催までに事前アンケートを実施し、受講者の知識や興味の確認を行い、講座内容を検討した。当日は、受講者が自分事として感じられるように、実際のケースを取り上げ、具体的な支援内容を示しながら説明を行った。その結果、若年性認知症の理解や、支援者の活動の周知につながり、「管理者等、若年性認知症の情報が必要な職員に伝えていきたい。」との感想も得られた。
東区	多職種連携	認知症の相談が増加している中、区内に認知症をテーマに多職種で気軽に話し合える場がなく、そうした機会の必要性を感じていたことから、東区認知症多職種ネットワーク会議の立ち上げを行った。立ち上げに当たり、当該会議の必要性やコンセプトを事前に関係者に伝え、理解を得た。東区地域保健対策協議会の構成団体のメンバーを中心に、各地域包括支援センターや障害者基幹相談支援センター、相談支援事業所の代表者も参加した。区内で起きた行方不明事例を基に意見交換を行ったことで、委員の課題意識が強まったのを感じた。
南区	認知症地域支援体制づくり	坂道が多いという課題のある地域で、住民から途中で休憩できる場所を作りたいという意見が出た。情報収集をする中、他自治体で一人歩きをする高齢者がバスに乗って遠くに行く事例があり、見守りのためにバスの止まらないバス停を作ったという取組を見て、町内会長や民生委員に説明を行ったところ、「ほっと一息ステーション」として、地域に取り入れることとなった。認知症の人が多く、地域の認知症への意識も高い学区で、地域住民が中心となって設置し、推進員も後方支援を行った。誰でも使用でき、認知症の人等を見守る場として活用されている。
西区	認知症地域支援体制づくり	認知症サポーターステップアップ講座の修了者に、傾聴ボランティアとして区外で活躍している方で、西区での活動も希望する方がいた。同じ思いを持つ支援者で西区の傾聴ボランティアを立ち上げることとなり、活動できる施設とステップアップ講座修了者のマッチングを地域包括支援センターとともにいった。またステップアップ講座修了者の中で、同行支援として若年性認知症の人のガイドヘルパーを受けているケースもあり、活躍の場が広がっている。
安佐南区	認知症地域支援体制づくり	認知症支援体制づくりを推進する中で、認知症の人の思いを大切に、様々な機関と連携したケースを広く紹介したいと思い、北部認知症疾患医療センターと安佐北区推進員との共催で行った認知症研修会にて、地域包括支援センターから当該ケースを発表してもらった。推進員は、関係機関や家族を含めた処遇検討会に参加し、情報共有を図った上で、家族にも意見を聞きながら資料作成を主に担当した。研修会後には、参加者が本人中心の支援体制の構築のための参考にしたり、サービスありきの支援から、本人の生活に目を向けた支援体制の構築を意識したりといった反応があった。
安佐北区	認知症カフェ	認知症カフェの趣旨に沿った運営ができていないと感じるカフェがあり、課題に感じていたため、各カフェに訪問して認知症カフェの趣旨を説明し、改善策の提案を続けた。認知症カフェを「認知症を予防するためのもの」と捉える運営者もいたため、認識の擦り合わせを行い、リーフレット等の媒体も活用して説明した。その結果、正しい認識が少しずつ広まり、趣旨に沿った運営に近づいていると感じている。
安芸区	研修会	市民の関心が高い認知症について、認知症になっても安心して過ごせる地域を作ることが大切ということを理解し、実践してもらうきっかけを作るという目的で、認知症対策専門委員会主催の市民公開講座を企画した。委員会をはじめとして、地域支えあい課、地域包括支援センターとの協議も行った上で講座を開催した。様々な世代が参加しやすいように、サテライト会場を設け、オンラインでも参加可能とした。本講座受講者の内、さらに学びを深めたい人をアンケートにて把握したため、認知症サポーター養成講座等の取組につないでいく予定である。
佐伯区	認知症カフェ	区内の認知症カフェが増えていることや、認知症カフェの店長の声から、認知症カフェ店長交流会の必要性を感じ、開催に至った。参加しやすくなる方法を検討する上で、事前に各店長へアンケートや聞き取りを行い、内容に反映した。他区で開催された同様の交流会を見学し、関係機関と協議の上で、ワールドカフェ形式で開催した。多くの参加があり、事後アンケートでは「これまで悩みながら行っていたが、他カフェの取組を知ることができて参考になった。」等の感想があり、今後の開催についても希望の声が多数上がった。